









ふふ
えっと

一応俺
男ですから!



貴女も
感じる
でしょ...?

この胸の
高鳴り...

今日から私たち...
性別の
垣根を超えて
二人だけの愛を
育んでいこうね♡

もう...
誰にも
渡さない
から...♡



ねーねー
拓弥くん

梨音って心配症
で思い込みが
激しいっていうか
基本病み属性
なんすよね

みんなキレイな
見た目に
騙されるけど
涼くん大丈夫かな



あ...
マジか!

ホッ

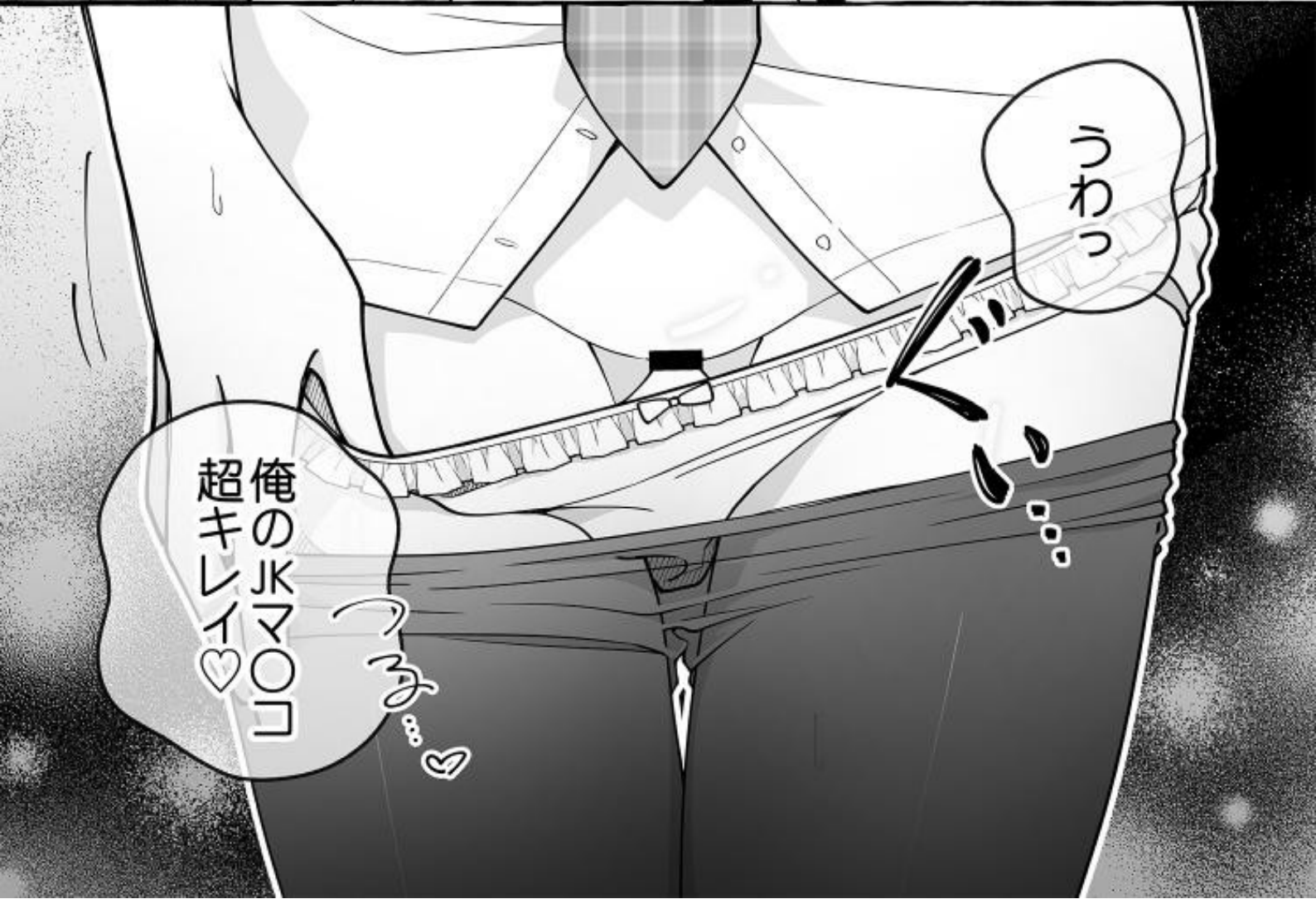
それくらい
ならどうにか
なるだろ...



まあ
体が女の状態で
洗脳させたら
お前の事女だと思っ
ちまったんだろうな

何錠か
入れ替わり薬
やるから
家で洗脳し
なおしてやれ





やっぱいいなあ…
やっぱりこの
胸の谷間から覗く
この景色…
超サイコー♥

男の体の時と
凹凸が逆転してて
めっちゃ
ドキドキする♪

俺より全然
年下の子の
体だけど…

…いいよな
俺の体だし…

…っ！
パンツ越しでも
ちよっと
痛いかも…

はぁ…
やっぱり
まだ経験とか
ないのかな…

もし…
この処女の体で
セ○クスすれば…

本人より前に…
処女喪失って
ことだよな…

ちょっと
かわいそうな
気がするけど…

まっ
いいか
…っ
もう俺の
だしっ♡

後であやさんに
いっぱい射精
してもらって

やば…
超
楽しみ…♡

俺の「モノ」に
なった記念の
マーキングして
もらおう…♡





数時間後…

ずうずうん…

えつと…あれから結構時間が経ってるんですが…

彼氏をこんなに放置するってどうゆーこと…?

ぽん…

ガチャ…

お待ちせ…りょーくん…

いろいろあったけど…

私たち…入れ替わることやっとな解決したから…

えっ?

入れ替わった…? 薬を…

えつと…

ホントごめんねあやさん…

成り行きでこうなったとはいえ…

俺はあやさんのこと大好きだからそれだけは信じて…

ごめんなさい…勝手に貴女の薬を持ち出しちゃって…

こうでもしないと分かってもらえないと思って…

はあ…別に…

どうでもいいわそんなこと…

やっべえ…まだ怒ってるよ…

もじり

いいけど…人のもの勝手に持つてっちゃんまずいよ…?

もじ



そういう
ことだから
私たち別れましょ

このマンションも
りょーくんに
あげるから

ちよっと待って
あやさん！

どう
しちゃったの？
急に別れる
なんて！

うるさいっ
離せ！
目障りだな！

もう
お前なんて
愛してない
んだよ！

オム



ああ……

じゃーなっ
もう二度と
顔見せんじゃ
ねえぞ！



二人が
入れ替わった後
急にあやさんが
豹変した……

まさか……
入れ替わる際に
洗脳された……？



でも……
何でこんなことを……

まさか……
まさか……



さあ…
これで邪魔者は
いなくなった！

三人きりに
なれた♡

私はこんな
薄汚いおっさん
になっちゃっ
たけど

赤い糸で
結ばれた二人
ならそんな事
関係ないよね

私以外と交尾
できないように
マーキング
してあげる♡

ま…っ
マーキング…？

そう…

もう私なしじゃ
生きられない
体にしてあげるか





そのころ
松岡たちは……

おーっ
すげえ♪

ギャルJKだ
かわいい♡



でしょっ
でしょっ！
拓弥くん
言われると
超うれしー♡

もっと
洋服出して
あげようか？

それよりっ
涼くんと
梨音のこと
なんすけど

もしかしたら
病み梨音に
涼くん苦勞
してないかな……

あの子気持ち
沈んじゃうと手
付けられないくらい
暴れちゃうし……

それに
一つ心配事
があるんです……

涼くん……
確か梨音を
洗脳する時に

「狂おしいほど
愛して欲しい」
とか言ってたん
ですよ……

病み属性に
強烈なデレなんで
ついたら……

ヤンデレ

とかにならない
ですよ……？

ばっかだなあ
お前wwww
そんなわけ
あるかよww

病みとデレを
足してヤンデレ
とか安直すぎw

人さまのことは
どうでもいいから
ウチらはウチらで
楽しむぞ！

セクシーな
パンツ持つて
こーいっ！

はっい♡



その頃、
漫画のような
展開になっている
この二人は…

これでもう
逃げられない♡

ねえ…
嬉しいでしょ？

私の体で
私に縛り上げ
られるの♡

痛みと快感を
貴女の体に
刻み込んで
分らせてあげる

私なしじゃ
生きていけない
ように…♡

俺の顔で言われても
全然興奮しねえし…
このままじゃヤバイ…

グッ…

そんなことより
早くあやさんを
取り戻さないで…っ

oooo

きゅん♡

きゅん♡

きゅん♡

きゅん♡

なんでこんな
酷いことするの!?

私はただみんなと
仲良くしたかった
だけなのに!

何を言っ
てるんですか?

貴女の瞳に
私以外が映っ
てるなんて...

そんな『間違い』
許されると思っ
てるんですか?

3人で
ご飯食べて
一緒にお風呂
入って...

私はそんな
幸せが欲し
かったのにっ

大丈夫♡
その間違い...
私が元に戻して
あげるからね♡

ほぎゃあ
あーあーあ

さあ...

あんな
あんなヤツの
ことは忘れて...

これから
私好みにな
じつくり
馴けてあげる
からね♡

お姉さま♡

あーあーあ
うーうーう



正直に
なろうよ

気持ちいいん
でしょ？
私のま〇〇♡

待って…っ

本当に…
やめっ…
あんっ

自分から
こんな腰
振っておいで

本当は
やめてほしく
ないんでしょ♡

私の
気持ちいい所は
私が一番知って
るんだから♡

…早く
言つてよ…

私だけの
女になるって

私の口から
お姉さまの
気持ちいを
伝えてよ…♡

…だめっ

ハイテンション

そこ
コリコリしちゃ
だめえええ！



無抵抗のまま
犯されてるんだ…？

なんで俺…
こんな縛られて
吊るされて…

バカになる
ううう！

乳首…
いじらない
でえええ！

お願いっ
もうやめてえ！
それ以上
♡♡♡



でもそれが…
相手の「所有物」に
されてしまった
ようで…

身動きができないから
相手のいいなりのまま
されてしまう…

なんか
気持ち
よくつて…

お腹の奥が…
きゅーんと
してくる…♡

これで
お姉さまは
私のもの…♡

でもまだ
調教は
終わらない
から……

まだ…
してくるの…？♡

えっ……

うそッ……

は

は
支

それから
2時間後…

結局楽しくなって
なんだかんだ3R
しちゃったヤツ

あーっ
これって
もしかして

スタンガン？♡

すっ
スタンガン！

このままだと
まずい…

このままだと、
主導権を握られて
恋人じゃなくて
性奴隷に
なってしまう…

これでお姉さまを
お受ければ
もつともつと
従順になつて
くれるかな♡

性奴隷…♡
それもいい
かも…♡

はぁ♡

このまま女子
校生になって
おもちやのよう
に扱われて…

色々なことを命令
されちゃったり…
聴きたくないことを
されちゃうなんて…♡

そうだな…

そういえば
この子俺のこと
あやさんだと
思い込んでるん
だった…
だった…

ねえっ！

そろそろ
いい加減にして
くれないかな！
アンタは
こんなことして
満足してるかも
しれないけど

カッ

アタシの元の体、
りよ！君が持つて
行っちゃったけど
どうすんの？

返してよー！

でも…
やっぱり俺は
あやさんが好きだ…

洗脳させて
とはいえ…

あれだけ
愛し合った
恋人同士
だったんだから

どうやってでも
元サヤに
戻さない…っ



逆に
見せつけて
やるんです
よ！♡

私たちが
ラブラブな
ところを♡

追い出して
勝った気で
ならないで

こう
考えては
どうです？

なっ縄を
すり抜けた…？

ふんっ

ちよるいな
コイツ

そうかつ、
あいつの悔し
がる姿を見て
悦に浸るわけ
ですわっ

分かります
ましたっ
呼び戻し
ましょう！



えっと…
あやさん…
もう今日は
この辺に…

はあ？

誰のせいで
こんなことに
なってるのよ！

あ…



あやさんを
洗脳する
過程で一旦
元の体に
戻った

なんだかんだ
あやさんを
連れ戻すことに
成功したけど…

あんた
ねえ！

バツと出の
新人のくせに
でじやばりすぎ
なのよ！

うるさいっ！

お姉さまは
お前より私の方が
好きなんだよっ！

家から出て行っただが
結局行くところがなく
マンションエントランス
でボーッと突っ立ってて
警察に通報されてたヤツ

正妻のポジションを
勝ち取ったと勘違いし
勝ち誇ってるヤツ



大体ねえ！
お前があんな
がきんちよ
連れてきたから
でじよっ！

はい…
あやさまが
一番で
ございます…

こうして
3人の同居生活
が始まった…

さあっ

明日
早いんだから
もう寝よっ♡

あんな
クソガキは
ほっといて♪

おっ
俺をはさんで
ケンカすん
じゃねーっ

でもさっき
私が一番って
言ってくれて

すごい
嬉しかった♡

そんなに
私の体が
忘れられない
のかな♡

「待って…
あやす…」

おいっ
お前!

お姉さまの体で
お姉さまを
誘惑するな!

っていうか
二人とも
柔らかくて
いい匂い…♡

おいっ
それ以上
お姉さまに
絡むな!



まわりにいる
おっさんたち…

ずっと俺たちを
イヤらしい目で
見てんぞ…

でもなっ

この美○女は
俺のもん
なんだよっ！

キッ

おめえらみたいなの
キモいおっさんたちが
気安く見られる
存在じゃないんだよ！

そっか…

男の時と違って
今の俺は
かわいい女の子
なんだから

まわりの男たちから
視線を浴びるのは
当然のこと…
俺もそっしてたし…

でも…

うず
うず

ちよつと
気持ちいい
かも…♡

はぁ…♡







ありがとね
おじさん♡

すつごく気持ち
よかったよ♡





おっ
美悠

今日は
珍しく
早いじゃん

一応二人とも
友人関係は
広そうだな

彼女を作るには
もってこいの環境
というわけだっ

おーっす
梨音っ

おはよっ
佐々木さん

っていうか
この学校
女の子のレベル
がたけえな♡

いつそ
全員彼女に
しちまうか♪



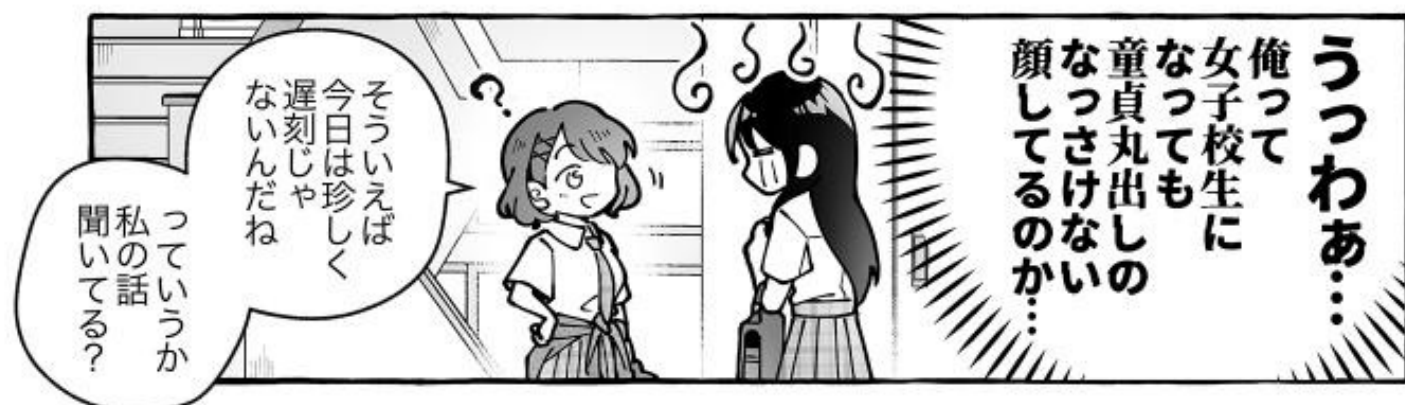
はいっこれ
例の薬百錠
以上あるから

好みのタイプの
女の子がいたら
どんどん
飲ませて彼女に
しちまえよ

俺がF組
お前がB組
らしいから

ここで
別れようや

それじゃ
どっちが多く
彼女を作れるか
競争なっ!







ところで
俺の席って
どこなんだ...

教室の
入り口で
何やってんだ
佐々木

えっと...
あの...

何
アホみたいなの
顔してんだ?
お前

ほらっ
はよ入れっ

つづく...